



パッケージデザインの 価値はどうなるか

第1回
研究会

調査研究
委員会

2019年3月19日(火)16:00 レンゴー東京本社大会議室 品川シーズンテラス17F 15:30 受付

2030年の未来... パッケージデザイナーは いなくなる? Imagining a Future ...未来に思いをはせる

ネット通販 vs 店舗販売

ビッグデータ・AI・機械学習でロボットがデザインを作る時代

循環型社会とプラスチックリサイクル 世界の潮流は「資源有効活用とゴミゼロ」

テクノロジーが変わるデザインが変わる 明日のブランディングはどこに向かう

第一部 基調講演 未来包装研究からみえること 「2030年包装の未来予測」概要



講師 日本包装専士会副会長
未来包装研究委員会委員長
島田道雄氏 技術士(経営工学部門)

第二部 ディスカッション

日本包装専士会メンバーと調査研究委員
& 会場を交えての意見交換

未来を決めるのは生活者?

世界が
取り組む
SDGs

- パッケージの変化 「繋がるパッケージ」IoPとは
- 社会の変化 フードロスその事実と社会影響
- 技術の変化 PETボトルに置き換わる? PEFって何

参加者からの意見・質問受付 申込時にフォーム通信欄に記入
メールでも受付

パッケージデザインの価値はどうなるか

JPDA調査研究委員会では、「社会課題とパッケージデザイン」を重点テーマとして、2018年度より委員会内でワークショップを進めています。社会の変化、技術の進展でパッケージデザインはどう変わっていくか、その価値はどうなるか等の探索に取り組んでいます。今回、「2030年包装の未来予測」を進めてきた日本包装専士会の方々をお招きし、調査研究委員会及び参加者の皆様と意見交換する機会を設けました。どうぞご参加ください。

15:30- 受付開始 会場:レンゴー東京本社大会議室(品川シーズンテラス17F)

16:00- 第一部 基調講演「2030年包装の未来予測 概要」

講師:島田道雄氏(日本包装専士会副会長・未来包装研究委員会委員長、技術士(経営工学部門))

17:20- 第二部 ディスカッション「包装の未来とパッケージデザインの価値」

■日本包装専士会 未来包装研究委員会より:

島田道雄氏(未来包装研究委員会委員長)

島田賢一氏(三菱商事パッケージング株式会社)

橋本香奈氏(大和製罐株式会社)

北島誠之氏(出光ユニテック株式会社)

●JPDA調査研究委員会より:

桑 和美/高田知之/福本佐登美/鈴木樹子/巨椋栄蔵/中越 出(委員会報告&進行)

19:00- 登壇者を交えての交流会(20:00終了予定)

日本包装専士会

(公社)日本包装技術協会主催「包装アカデミー」
講座を経て、包装技術のエキスパートとして「包装専士」の称号を得た修了者で構成する任意団体、
1987年設立、会員数178名(2018年現在)。
<http://www.housou-senshikai.jp>

■未来包装研究委員会:

「包装を通してあるべき未来を提案する」を目的に、「社会的課題」、「新技術(包装技術・包装の役割)」の情報を入れ、これら情報をクロスに評価し、「2030年のあるべき姿」と「現状とのギャップ」を見える化し、「進むべき方向」を提案する日本包装専士会のプロジェクト。2016年より活動を開始し、2018年の東京国際包装展(TOKYO PACK 2018)で発表。

参加費:JPDA会員 3,000円/
一般 4,000円/学生 1,000円
参加費は会場受付にてお支払いください。

申込方法:JPDAサイトの案内ページより
フォームに記入し送信してください。

▶▶▶ www.jpda.or.jp

※定員:50名

※申込締切:2019年3月12日
(先着順・定員になり次第締切)



これを聞きたい!
質問を申込フォーム通信欄に
ご記入ください。

レンゴー東京本社大会議室(品川シーズンテラス17F)

●住所 〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

TEL.03-6716-7300 FAX.03-6716-7330

●交通 JR「品川」駅港南口(東口)より徒歩6分

